

備前市パートナーシップ推進会議：平成 24 年度第 1 回会議要旨

と き：平成 24 年 6 月 29 日（金） 13:30～16:30

ところ：備前保健センター 3階 研修室

出席者：（委 員）石原、出井、宇治橋、大森、片山、下野、延原、船橋、武用、道廣、湊、
以上 11 名【欠席：近藤、竹本、延本、福圓】

（事務局）部長、まちづくり推進課 3 名

1. 開会
2. 市長あいさつ
3. 委嘱状交付

任期：平成 24 年 6 月 1 日～平成 26 年 5 月 31 日

4. 議事

(1) 役員選任

会長：石原委員、副会長：片山委員

(2) 「まちづくり基本条例」の概要について

担当者が、条例制定の経緯や、条例の目的、特徴について説明した。

(3) 条例の運用状況について

取組状況一覧表により説明した。

(4) 提案制度について

政策提案制度、協働事業提案制度について、実施要領により説明した。

(5) 協働事業の審査について

①協働事業名：「子どもとメディア出前講座」プログラムの普及モデル事業

団 体 名：NPO法人 子ども達の環境を考えるひこうせん

②協働事業名：地域の絆、見る・遊ぶ・体験ひろば応援事業

団 体 名：NPO法人 ふれあいサポートちゃていず

1 団体ごとにプレゼンテーションを行い、質疑応答のあと、各委員が評価表で、評価を行なった。委員の評価を集計し、推進会議として評価表を作成した。結果は 2 事業とも協働事業として実施することが適当である、というものであった。市では推進会議の評価結果をもとに、事業の可否を決定する。

(6) その他

事務局からお願い

今年度は協働の研修会が何回か計画されているので、委員の皆さんもできれば出席していただきたい。

<主な意見内容>

【議事 (2)】「まちづくり基本条例」概要について

委 員 第 17 条の行政評価については P D C A サイクルを用いて行うということになっているが、まだ十分に活用されていないようである。今後、P D C A サイクルを活かした行政評価を行ない、事業の実施をしてほしい。

委 員 協働事業についても、P D C A サイクルを活かした評価、事業の見直し、推進を行なうことが重要である。

【議事題(3)】 条例の運用状況について

委員 運用状況等の会議資料は、事前に委員に送ることが可能であれば送ってほしい。

事務局 次回はそうします。

委員 補助金の総額、及び期待していた効果達成状況、事業の評価はどうか？

事務局 HPで各事務事業の評価を公表していますが、評価が良好な事業が、継続して実施されているものと考えています。

委員 HPで見る限り、これまでの評価はB評価が多くなっていて、無難なものとなっている。事業の評価がもっとみんなに見えるようパートナーシップ会議でしていくことが必要なのではないか。

委員 現在の公表様式では、こういう事業を滞りなくやりました「しゃんしゃん」という感じの様式になっている。

委員 結果を次に結び付けられるような、また、スパイラルアップが図られるようなやりかたがとれるかどうか。

委員 いくら儲かったかで評価する企業と違って、協働事業等は評価が難しい。

委員 リスクや効果を判定する方法、評価の仕組みづくりを早めにする必要がある。

委員 PACDのCは定めた目標に対するチェックであると理解しているが、自ら分析して、今後につながるような検討がある。どうやったらチェック、フォローができるか推進会議で考えて決めて行きましょう。

事務局 公表の様式や方法を委員の皆さんのご意見を伺いながら、検討して行きたい。